

# 2020 年度第 2 回クラス代表懇談会 当日意見まとめ

クラス代表懇談会当日にいただいた意見を整理したものです

☆はほぼすべてのグループで出た意見、◎は 5 件以上あった意見、○は 2 件以上あった意見につけています

## 1. 授業について

### 1.1 授業全般について

☆オンライン授業と対面授業が同じ日にあると困る。移動が大変。また、対面授業が延長するとオンライン授業に間に合わないことがある。教員に配慮してもらいたい

◎教員ごとに使用しているツールが違うため、CLE に統一してほしい

◎学生間で交流が多めの授業（ディスカッションやグループワークをする授業）を対面にしてほしい

◎教員が一方的に講義をするだけの授業は対面ではなくてオンラインがいい

○レポートの採点でコメントがなく点数のみ、もしくは「意味不明」というコメントのみが返ってくる授業があり困る。点数だけではなく、きちんとしたフィードバックがほしい

○春から特に変わりなし。「こんなもん」かなといった感じ、可もなく不可もない

○感染リスクが気になるので、対面授業が増えたとしても、その授業をライブで見ることができるようしてほしい

・「基本的には対面で授業し、来るのが怖い人はオンラインでも可」という形式は、準備が大変だと思うのが良かった

・前期でほとんどの全学の単位を取ったので、後期は全学の授業が少ない。そのような学生にとっては、後期も全学の授業はオンラインの方が良い

・対面とオンラインを同時並行で行う授業の場合、対面の参加者とオンラインの参加者にバランスよく授業を提供できているのか

・数学で課題だけ出され、オンデマンドの授業すらないので、授業を受けてみたい

・専門科目ぐらいいは対面にしてほしい（基礎工）

・抜き打ちテストは難しいので、テストは事前に告知してほしい

・時間割を無視して授業する教員がいる。3 限は 13:30~15:00 なのに、13:00~14:30 で授業されて困る

・複数の教員が担当している授業で、課題の提出先や提出時期、連絡方法が教員によってバラバラ。CLE に統一してほしい

・物理と数学が難しい。解説動画や質疑の時間を作ってほしい

・ある授業の教員が、第 1 回の授業で寝坊したのに謝罪の言葉がなかった。しかも、第 3 回目以降は講義資料がアップされるだけの授業になった。課題が出ないので、自分の理解度が把握できず不安

・教員自体が CLE を使いこなせていない。教員向けの CLE の講習会を開いてほしい

### 1.2 対面授業について

○100 人を超える授業を対面で行っているのは不安

- ・全学の授業は人数が多いので、対面だと感染が不安
- ・大阪モデルで赤信号になったのに、このまま対面授業を続けるのか。大学の活動基準がわからない
- ・対面授業に期待して後期を迎えたのに、オンライン授業と質が変わらなくてがっかりした
- ・高校の延長のような授業がある。大阪大学の対面授業に期待していたのに期待が外れた
- ・対面授業でもグループワークできず、席も離れたままなら、対面のメリットを感じない
- ・席同士の距離を取り、専門語の発音の授業では向かい合って発音せずに、ヘッドホンのマイクでペアワークするなど、感染対策は配慮されている
- ・換気のために窓を開けているが、寒い
- ・机の消毒用アルコールが授業中に回ってくるが、一つしかないため回るのに時間がかかる。回ってくる間にすでに着席しているため、意味があるのか疑問（豊中総合学館にて）
- ・外国語学部の専攻語の授業は人数が少ないので対面でも抵抗が少ない
- ・学部的人数が多くないので、学部授業は感染リスクの心配をしていない
- ・今後対面授業が増えるようであればうれしい
- ・あまり対面授業がない
- ・専門的な内容の授業は対面がいい

### 1.3 対面授業がはじまってよかったこと

- ◎専攻語の授業だと、対面なら発音が生で聞いてわかりやすい
- 対面授業が始まり、クラス内で仲がいい人ができてよかった
  - ・前期の ZOOM 授業よりも、対面授業は教員との距離を近く感じる
  - ・外国語の発音は、対面と ZOOM では明瞭さが違う。対面授業が必要だと思う
  - ・対面の方が授業の理解度が増す
  - ・グループワークのとき、より深い内容まで議論できる

### 1.4 オンライン授業について

- ◎授業後に課題をやっているときにわからないことがあっても、すぐに聞きことができない（教員にも、同級生にも）
- 授業の理解度などについての情報共有を、同級生とすることができないので不安。特に外国語学部では、周りがどのくらい専攻語を習得しているのかの情報が必要なので不安
- オンラインだと授業中に発言や質問がしにくい。はやく全部の学部の授業を対面にしてほしい
- オンライン授業になると、勉強へのモチベーションが下がる
  - ・オンライン授業の、出席替わりのリアクションペーパーを書く意味が分からない。きちんとミーティングルームに入っているのだから、それをもって出席としてくれてよいはず
  - ・ZOOM だと一部の人の声しか入らないため、自分の発音を先生に聞いてもらっているかわからない（外国語の授業）
  - ・次の学期からもオンライン授業なのかどうか不安
  - ・家で授業を受けると、オンとオフの切り替えがうまくできない
  - ・講義室の Wi-Fi が弱い。こちらが発話したりすると回線が切れたりする
  - ・カルチエの外でオンライン授業を受けるときは、Wi-Fi が弱い

- ・教員側の電波が弱く、授業中に声が聞きにくかったり画像が見えにくかったりする
- ・教員のスピーカーから授業中ずっとノイズが響いている。教員に伝えたが改善無し。授業中ずっと耳が痛い
- ・教員が LINE 電話を利用して授業しているが、教員側の電波が悪い時がある
- ・「基本はオンデマンド、不定期に ZOOM がある授業」は、ZOOM 授業を忘れそうになるのでやめてほしい
- ・ZOOM で教員が待機室の管理ができておらず、授業の最初にミーティングルームに入れないと、以降は入室許可が出ないので入れてもらえない
- ・ZOOM でチャットを送る教員がいるが、スマホでは開けない
- ・基本 ZOOM かメールしか教員に連絡を取る手段がないが、多忙な教員はメールの返信が遅い
- ・文法の授業も対面にしてほしい。質問点を文字（メールなど）で伝えるのは難しい為
- ・オンライン授業でネイティブ教員の授業をうけていたとき、トラブルをどう伝えていいかわからなかった（言語の問題）
- ・オンデマンド授業で、教科書のページと課題の指定だけするものがあった。授業の形態としてどうなのか
- ・ZOOM に一旦集合して、読むべきサイトの URL を指定するのみの授業がある。ZOOM に集めるならきちんとした授業をしてほしい
- ・教員が学生を当てる授業は 90 分間集中していられるが、一方的な講義や録画は 90 分も集中力が続かない
- ・外国語の授業だと、会話中心であれば 90 分間が苦にならないが、文法だと辛い
- ・2 コマ以上オンラインが続くと辛い
- ・動画をあげるのは Dropbox か echo がいい（二倍速などにできるため）
- ・ZOOM の画面共有を使えば、オンラインでもわかりやすい
- ・オンライン授業は快適ではあるが、ずっとオンラインだと、人との関わりがなくなってしまう。周りの人と会ったり、情報交換したりする機会がない
- ・実際にキャンパスに行くことがないと、部活やサークルに参加する面倒臭さが上回ってくる。対面授業があるから、部活に参加する意欲も生まれるのではないか
- ・他の学部の人と話す機会がないのが残念
- ・1 限はオンライン授業がいい

## 1.5 オンライン授業のいいところ

- ◎オンデマンド授業だと、自分のペースで勉強できる。動画を止めて資料を何度も見直したり、二倍速にしたりできるので、復習に役立つ。でも対面授業の方がノートは取りやすいので、ハイブリッド授業がいい
- ・オンライン授業の内容を録画して CLE にあげてくれると、復習に便利
- ・通学時間がないのは快適
- ・資料がデジタルデータで、いつでも見られるのはありがたい
- ・オンデマンド授業だと、自分の進め方次第では全体を作ることができる
- ・授業直前に起きてても授業に間に合う

## 1.6 e-learning について

☆コンテンツが TOEFL 対策になっていない

☆レベルが低いので、やる意味がない。阪大の入試を解きなおした方が力になる

☆時間が多く取られるのに、難易度が低すぎて結局 TOEFL に太刀打ちできなかった。時間対効果が低い

☆時間がかなりとられるが、e-learning だけに時間をかけられるわけではない。ほかの課題もある

☆画面上の例文をタイピングするだけの意味のない問題がでる

◎何を目的としているかがわからない。教材の意義や使い方についての説明が不足しているため、きちんと説明してほしい

○スピーキングの録音がうまくできない

○英語に定期的に触れる機会があるのはいいと思う

- ・単位認定の基準がわからない

- ・サイトにバグがあった

- ・効率が悪いので他の勉強をしたい

- ・発話よりも読む量を多くしてほしい

- ・事前アンケートで e-learning について、学生の間ではいろんな声が出ているが、大学側に届いているのかわからない。届いているのに反応がないなら問題。去年のアンケートに「負担が大きい、目的がわからない」の声が出ていたが、去年に引き続き今年も出ている

- ・e-learning をするくらいなら、対面で授業をしてほしい

- ・発話に特化した教材だとは思えない

- ・教材を漫然とやるよりも、自分で英語で考えて英語で話すことをしないと、会話力は身につかないのではないか

- ・英語の勉強方法は人それぞれなのに、e-learning に必修の単位がかかっているのはどうなのか

- ・TOEFL で 60 点が取れるなら、それでよしとしてほしい

- ・TOEFL より TOEIC のほうがいいのではないか

- ・教材が無味乾燥で面白くない

- ・数学や物理の単純なこと・退屈なことは理由があるから納得できる。しかし e-learning はただの単純作業でしかない。作業アルバイトをしている気分になる

- ・speaking できちんと発音しているのに認識されないことがある。I や you などの主語が顕著

- ・量が多いのが負担になっている。通年でやれば、負担が軽減されるのでは？

- ・スピーキングは取り組む際に時間と場所を選ぶので、取り組みにくい

- ・動作不良の際に案内される手順に従っても解決しないことがある

- ・大学から一方的に与えられている教材なので、やる気が出ない

- ・ディクテーションをする意味が分からない

- ・教員が e-learning を体験してほしい。学生がどれくらい困っているか実感してほしい

- ・語学が将来必要になることがわかっているが、だからこそ、この教材でいいのかと思う

- ・タイピングのときにコンマを忘れただけで不正解になるのは理不尽

## 1.7 学問の扉について

- ・学問の扉も他の授業もあまり変わらなかった
- ・他の授業より人数が少なかったので、発言しやすかった

## 2. 課題について

- 授業間・教員間で授業内容や課題についてのコミュニケーションはとれないのか。例えば、ネイティブの先生の英語の授業と日本人の先生の英語の授業の課題を合わせるとかなり負担が重くなったことがある
- 量については、前期よりも配慮してくれている教員がいると感じる
  - ・毎回の授業で提出するものは 500 字から 1000 字くらいまでがいい
  - ・期末の成績評価はテストかレポートか早めに教えてほしい
  - ・教員と連絡が取りにくい。教員によっては、返信が返ってこない
  - ・e-learning との兼ね合いで、課題を沢山しないといけない
  - ・CLE の ToDo リストに課題を登録してもらえると、課題の提出を忘れにくいのでやってほしい
  - ・CLE 上に課題が表示されなかったり、期限が設定されていない場合がある
  - ・課題が今までに 1 回しか出たことがなく、内容も簡単なので、自分にどれくらい実力がついていくかわからなくて不安

## 3. 大学の施設について

- 食堂が閉まるのが早い。部活の後も食堂でご飯を食べたい
- 昼休みの食堂は、席が空いていないほど混雑するので、仕切られているとはいっても不安。また、列ができているのも不安を感じる
  - ・食堂のホールでしゃべる人を注意することに人員を割いた方がいいのでは
  - ・食堂のご飯がおいしい
  - ・図書館の使える座席が少ない

## 4. 授業外での交流の機会について

- ◎対面でもオンラインでもいいので、授業外での交流の機会をもっと増やしてほしい（学部主催のものなど）。授業内でのグループワークなどの交流しかないため、授業の話しかできない
- 同じ学科内では友だちができるが、それ以外の友だちはいない。他学部の人と交流したい
  - ・オンライン授業だと、ミーティングルームを出た瞬間に一人になってしまう。そのあとだれかに連絡しようという気は起きない
  - ・同学年だけではなく、先輩と交流する機会が欲しい
  - ・有名人の講義を聞きたい。池上彰など
  - ・留学の経験の話が聞きたい
  - ・古典の名作を読む会があったら参加したい
  - ・YouTuber を呼ぶ。「はちげんめっ！」は良いと思う

## 5. アクセスポイントについて

- ◎声を出すのが恥ずかしい。発話が多い授業では、アクセスポイントに人が多いと発言するのを遠慮してしまい、他の人が少ない場所で受けている。発言していい場所であっても居心地がよくない
- C棟2階の発話できるエリアがありがたい。しかし、5限後などは未使用のパーテーションが残っていない時があるため、消毒をもう少し頻繁にしてほしい
- Wi-Fiの接続が急に切れる。リアルタイム授業だと、接続が切れている間は授業を聞くことができないので、話についていけなくなる
  - ・アクセスポイントとして使用できる教室を増やしてほしい
  - ・発話していい部屋としてはいけない部屋の違いが、初めはよくわからなかったなので、表示をわかりやすく改善してほしい
  - ・周囲のノイズを拾ってしまい、授業が聞きづらい
  - ・アクセスポイントの部屋は窓が空いているので寒い。暖房も自分で入れないといけませんが、周りの人がいると気をつかって入れにくい
  - ・授業が連続すると充電が減るが、充電スポットではZOOMで話せないのが困る
  - ・充電しながら授業を受けることができない
  - ・アクセスポイントの数は十分だが、対面授業が終わったあとなどは同じ授業を受けていた学生どうしで一緒に移動する流れができるので、結果的に学生が一つの部屋に集中してしまう
  - ・感染症対策のためのオンライン授業なのに、アクセスポイントに集まるのは無意味ではないか
  - ・アクセスポイントの消毒セットはきちんと揃っている。
  - ・机の消毒を忘れることがある。手の消毒は忘れない

## 6. サークルについて

- ・サークルオリエンテーションに参加していないので、情報が集まらない
- ・サークルに入っているが、活動回数が少なく、何のために入っているかわからない
- ・体育会だと、活動制限が厳しい
- ・体育館は午前にも使えるようにしてほしい
- ・サークルに参加すること自体が感染リスクが高いため不安
- ・気づかぬうちに新歓が終わっていた
- ・サークルの活動が始まるのが遅かった(9月頃)にもかかわらず、最近活動の見直しや縮小がおこなわれている。外に出ることができなくてストレス
- ・まだ入学した気がしていなくて、このまま先輩になると思うと不安
- ・同級生や先輩とのつながりができ、気分が明るくなった

## 7. その他

- ◎感染症対策への意識が低くなってきている。大学から注意喚起してほしい。
- 通学するときの感染リスクが心配
- オンラインだと授業の直前に起きても間に合うため、生活リズムが狂ってしまっている。バイトを

午後半日いれたり、深夜まで遊んで昼夜逆転したりなど。そのため、ある程度対面授業は行ってほしい

○授業がオンラインになるのか対面のままかわからないので、定期を買うかどうか迷っている

- ・友だち同士で集まって密になってしまっている場面があるので、ルールを守ってほしい。また、クラス内でできたグループで、大学外で会食などを行っている様子。大学からの注意喚起が学生の行動に結びついていない
- ・学生生活でわからないことがあった時、どこに聞けばいいのかわからない。また大学に行く機会がないときに、どこに連絡すればよいかわかりづらいので、HP や KOAN、CLE などに連絡先を明記してほしい
- ・できるだけ再履修したくないので、単位を落とした時のための補習（救済措置）をしてほしい
- ・週二回の対面授業のためだけに下宿をしているのはモチベーションが上がらない
- ・キャンパスに来る機会が少なすぎて、その環境になれてしまった。自分の前提がオンライン授業で、「今日は対面の日か....」という感じ
- ・定期的に大学に行く機会が欲しい
- ・ずっと家にいると生きている感じがしない
- ・体力が落ちた、視力が悪くなった
- ・来年以降の大学の指針（2 年次以降も交流会を開催するのか等）を示してほしい
- ・使用後の机を消毒するための消毒液やティッシュが足りない
- ・C 棟 104 には机消毒用品がない。机配列の都合上密になってしまう（2 人で着席した場合、間に一席分開けられない）
- ・授業間の空き時間を一人で過ごすのが苦痛
- ・昼休みが 90 分になっても食堂は 12 時頃に混雑するので、意味がない
- ・昼休みが 90 分になると授業終わりが遅いので、サークルやバイトの時間が削られる
- ・2 限から 3 限の移動が大変な時は、昼休みが 90 分だとありがたい。ゆっくりご飯を食べられるし、落ち着いて次の授業の準備ができる
- ・学内バスの運行時間が、一部現行の時間割に合っていないので改善してほしい。5 限のあと 19 時 20 分のみしかバスがない（豊中→箕面）
- ・もう少し遅い時間帯のバスの便もほしい
- ・改めて入学式をやりたい
- ・授業で他学部の友人を作るのは困難
- ・部活やサークルに所属しないと、他学部の友人を作るのはほぼ不可能
- ・友だちと相談しながら自習できる場所が欲しい
- ・留学生との交流イベントがあるとは知らなかった。認知度が低いのかかもしれない
- ・今回の懇談会の、CLE 上の案内がわかりにくかった